

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束廃止委員会を3ヶ月に1回開催しないと減算になるが、現在、3ヶ月に1回開催していない。	3ヶ月に1回、身体拘束廃止委員会を開催する。	毎月のケース会議を行う際、3ヶ月に1回、身体拘束廃止委員会を開催することにした。	1か月
2	35	災害対策としての飲用水や食料品は、隣接する特別養護老人ホームに一括で備蓄しているが、調査員より、グループホーム単体での備蓄が望ましいとの話があった。	グループホーム単体で備蓄できる物は備蓄していく。	市役所に確認すると、隣接する特別養護老人ホームで一括で備蓄しているのであれば特別問題は無いとのことなので、今まで通りの対策を維持していく。	1か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。